

令和 4 年度当初予算案の編成見通しについて

□ 予算の規模

会計名	令和 3 年度 当初予算額	令和 4 年度（見通し）
一般会計	281.3 億円	307.9億円（前年度より26.6億円程度の増） 【増の主な理由】 ・新型コロナウイルスワクチン接種事業の実施 ・施設の老朽化などによる小中学校施設の改修 ・光綾公園の再整備工事の継続 など 【減の主な理由】 ・綾瀬 S I C 関連周辺市道整備事業の進捗に伴う用地取得の減 ・生活保護受給者一人あたりの扶助費の減 ・児童手当受給者数の減 など

□ 市税等の状況

区分	令和 3 年度 当初予算額	令和 4 年度（見通し）
市民税	50.4 億円	全体で3.4億円増。 個人：総所得の増加により1.7億円増 法人：法人税割の増などにより1.7億円増
固定資産税	59.3 億円	全体で0.2億円減。 家屋：家屋の新築により0.2億円増 土地：評価の下落により0.1億円減 償却資産：償却資産の減価により0.3億円減
その他の税	15.1 億円	全体で0.3億円増。 軽自動車税：0.2億円増 市たばこ税：0.1億円増 都市計画税：ほぼ横ばい
合計	124.8 億円	全体で3.5億円増の128.3億円程度の見通し

・過去3年間の市税の推移(当初予算比較)

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度 (見通し)
市税予算額（億円）	133.7	130.9	124.8	128.3 程度
対前年度比（％）	—	△ 2.1	△ 4.7	2.8 程度